

取組状況をチェックしてみましょう！

ステップ1

入荷先・出荷先の特定

チェック項目	参照先
<input type="checkbox"/> 入荷した商品について、基本4項目※が記載された「入荷の記録」が保存されていますか。	「入荷・検品」のステップ1
<input type="checkbox"/> 出荷した商品について、基本4項目※が記載された「出荷の記録」が保存されていますか。	「出荷」のステップ1

※ 基本4項目：①いつ ②どこから（どこへ） ③何を ④どれだけ
すべてOKならステップ2のチェックリストへ

ステップ2

食品の識別

チェック項目	参照先
<input type="checkbox"/> 入荷品を管理する単位（入荷ロット）を決めていますか。	「入荷・検品」のステップ2
<input type="checkbox"/> 入荷品を管理する記号や番号（入荷ロット番号）の割り当てルールを決めていますか。	
<input type="checkbox"/> 入荷品を管理する記号や番号の表示方法を決めて、入荷品に表示していますか。	「加工・包装」のステップ2 (自社で加工・包装する場合)
<input type="checkbox"/> 自社で加工・包装した商品を管理する単位（加工・包装ロット）を決めていますか。	
<input type="checkbox"/> 自社で加工・包装した商品を管理する記号や番号（加工・包装ロット番号）の割り当てルールを決めていますか。	
<input type="checkbox"/> 自社で加工・包装した商品を管理する記号や番号の表示方法を決めて、商品に表示していますか。	

すべてOKならステップ3のチェックリストへ

ステップ3

識別した食品の対応づけ

チェック項目	参照先
<input type="checkbox"/> どの入荷品がどの入荷先から入荷したかがわかる記録が保存されていますか。 (自社で加工・包装する場合)	「入荷・検品」のステップ3
<input type="checkbox"/> どの入荷品から、どの加工・包装した商品の単位ができたかがわかる記録が保存されていますか。	「加工・包装」のステップ3
<input type="checkbox"/> どの商品がどの出荷先に出荷されたかがわかる記録が保存されていますか。	「出荷」のステップ3

問い合わせ先

問い合わせ先	電話番号	問い合わせ先	電話番号
消費・安全局 消費者行政・食育課	03-3502-5716	東海農政局 消費生活課	052-223-4651
北海道農政事務所 消費生活課	011-330-8813	近畿農政局 消費生活課	075-414-9771
東北農政局 消費生活課	022-221-6095	中国四国農政局 消費生活課	086-224-9428
関東農政局 消費生活課	048-740-0096	九州農政局 消費生活課	096-300-6126
北陸農政局 消費生活課	076-232-4227	沖縄総合事務局 消費・安全課	098-866-1672

※ 「実践的なマニュアル」は、農林水産省ホームページ(<http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/trace/index.html#4>)からダウンロードできます。「実践的なマニュアル」や本ダイジェスト版について不明な点があれば上記までお問い合わせください。

食品の足あと たどれますか？



平成25年度食品トレーサビリティ促進委託事業

食品トレーサビリティ 「実践的なマニュアル」

ダイジェスト版 卸売業編

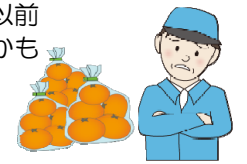
「食品トレーサビリティ」とは「食品の移動を把握できること」

トレーサビリティが必要な理由

メーカーから、「回収してほしい」との依頼を受けたが、そのロットをどこに販売したかわからなかったため、その商品を売った数十か所すべてに、回収を依頼せざるをえない…。



小売店から、「鮮度が悪い」とクレームを受けたが、本当に自社がその商品を売ったのか疑問。あるいは、もっと以前に売ったものかもしれない。



これらは他人事ではありません！

トレーサビリティに取り組んでいたら

『回収の必要なロットだけを追跡できる！』

回収を依頼する販売先を絞り込めるので、関係のない販売先に迷惑をかけずにすむだけでなく、回収を依頼する自社の負担も減る。



『遡って調べられる！』

本当に自社が売ったものか、あるいは、いつ売ったものかを判断できる。

自社が売ったものであれば、自社の記録を確認したり、産地に連絡したりして、原因究明ができる。



トレーサビリティに取り組んでみましょう！

ステップ1 入荷先・出荷先の特定

【取引先から回収ができます】

①「入荷の記録」を作成・保存しましょう

○「入荷の記録」を作成します

※「入荷の記録」には、基本4項目がすべて記載されている必要があります

- 基本4項目：①いつ (入荷日)
②どこから (入荷先)
③何を (品名)
④どれだけ (数量)

自社で記入する手間
が要らない例です

入荷先からの納品書を活用

納品書 No.12345678

A物産 様

2014年12月8日
〇〇市〇〇町〇〇番地
(株)〇〇食品

品名	数量	単位	単価	金額	備考
品名A	10	ケース	1,500	15,000円	
品名B	10	ケース	1,200	12,000円	
計				27,000円	

納品書を手入
↓
入荷品と納品書の内容を照合

○「入荷の記録」を保存します

ファイルに綴じてロッカーに保存

ステップ2 食品の識別

【問題のある商品を見つけやすくなります】

③入荷品の識別をしましょう

○入荷ロット番号を作成します

141208 TK 品名A 150520

入荷日 (6桁) 入荷先 (2桁) 品名 (文字) 賞味期限 (6桁)

(番号の意味)
… 2014年12月8日に
入荷先TKから入荷した
品名Aという商品
賞味期限は2015年5月20日

○入荷ロット番号を表示します

手書きラベルを貼付 (品名と賞味期限は、
外箱の表示を活かす)

○入荷ロット番号を記録します

納品書 No.12345678

A物産 様

2014年12月8日
〇〇市〇〇町〇〇番地
(株)〇〇食品

品名	数量	単位	単価	金額	番号
品名A	10	ケース	1,500	15,000円	141208TK150520
品名B	10	ケース	1,200	12,000円	150307
計				27,000円	

納品書に
賞味期限を
記入

(入荷日、入荷先、
品名は、すでに記
載されているため)

○記録を保存します

加工食品
の例です

ステップ3 識別した食品の対応づけ

【範囲を絞った回収や原因究明ができます】

⑤入荷ロットと入荷先を対応づけましょう

納品書に入荷ロット番号が記入され
ていれば※、新たな作業は必要ありま
せん。

入荷・検品

加工・包装

加工・包装工程がなければ、右の
2つに取り組む必要はありません。

④加工・包装した商品の識別をしましょう

○加工・包装ロット番号を作成します

商品A 141212 ABS

品名 (文字) 加工・包装日 (6桁) 自社名 (3桁)

(番号の意味)
… 商品Aを2014年12月12日に加工・包装
自社名(A物産)は、記号化

○加工・包装ロット番号を表示します

商品にラベルを貼付

○加工・包装ロット番号を記録します

加工・包装記録に記入

記入例: 青字(下線)

加工・包装記録

年月日	品名	出来高	加工・包装ロット番号	原料名
141212	ギフトA	5箱	141212	品名A
				品名B

別紙を
使用してください

○記録を保存します

⑥入荷ロットと加工・包装ロットを対応づけ ましょう(内部トレーサビリティ)

○記録様式に記入します

加工・包装記録に記入

別紙を
使用してください

記入例: 青字(下線)

加工・包装記録(詰め合わせ工程)

品名: ギフトA
加工・包装日(作業日): 14.12.12

作業開始時刻	原料名	品名A	品名B	出来高	加工・包装ロット番号(工程後)
9:00		141208TK150520	141208TK150307	5箱	141212

入荷ロット番号

加工・包装ロット番号

○記録を保存します

②「出荷の記録」を作成・保存しましょう

○「出荷の記録」を作成します

※「出荷の記録」には、基本4項目がすべて記載されている必要があります

- 基本4項目：①いつ (出荷日)
②どこへ (出荷先)
③何を (品名)
④どれだけ (数量)

既存の納品書(控)を
活用する例です。

納品書(控)を活用

納品書(控) No.23456789

XX商店 様

2014年12月13日
〇〇市〇〇町〇〇番地
A物産

品名	数量	単位	単価	金額	備考
品名A	50	個	70	3,500円	
品名B	50	個	50	2,500円	
計				6,000円	

納品書を作成
↓
出荷品と納品書の内容を照合

○「出荷の記録」を保存します

ファイルに綴じてロッカーに保存

これらは、入荷品を加工・包装しな
い場合の例です。

⑦ロットと出荷先を対応づけましょう

既存の納品書(控)を
活用する例です。

○入荷ロット番号を記録します

納品書(控)に入荷日、入荷先、賞味期限
を記入 (品名は、すでに記載されているため)

納品書(控) No.23456789

XX商店 様

2014年12月13日
〇〇市〇〇町〇〇番地
A物産

品名	数量	単位	単価	金額	備考
品名A	50	個	70	3,500円	141208TK150520
品名B	50	個	50	2,500円	141208TK150307
計				6,000円	

○記録を保存します

出荷

※ 詳しくは、「実践的なマニュアル」をご覧ください。

「加工・包装」のステップ3

・工程が複数ある場合は、コピーして工程ごとに記録を作りましょう。

加工・包装記録 (_____ 工程)

品名: _____

製造日(作業日): _____

作業開始時刻	原料名					出来高	加工・包装ロット番号 (工程後)

この工程で投入した
各原料のロット番号を記入します

工程後に出来上がった
食品のロット番号を記入します